

日出ロータリークラブ 次期会長 就任受諾の挨拶

2019年12月10日

加賀山 茂

1. 次期会長として選出していただいた会員へのお礼

オリンピック・パラリンピックとその後の景気の反動が予想される次年度に、日出ロータリークラブの会長に選出していただき、会員の皆様に心から感謝いたします。また、役職を快くお引き受けいただいた次年度の役員・理事の皆様にもお礼申し上げます。

2. 次期会長の受諾の経緯

私が日出ロータリークラブに入会したのは、昨年2018年5月22日ですから、私は、ロータリー歴がわずか1年6か月と18日しかありません。昨年の年次総会で副会長に選出されたときにも、次年度に必ずしも会長になるというわけではないということを確認の上でお引き受けしました。その当時は、次年度に大学の勤務先が変更になり、私は、その後4年間、宮崎に移住することになるため、ロータリークラブの会長就任をお断りできると思っておりました。ところが、大学の都合で勤務先の変更が、3年後にずれ込んだため、就任要請を拒絶する理由がなくなりました。そのような経緯で、会長就任を受諾させていただくことになりました。

3. ロータリー歴1年半という経験不足を克服するための会員各位への協力要請

このような事情ですので、私には、ロータリアンとしての経験が決定的に不足しております。もっとも、次期幹事が経験豊かな方ですので、次期幹事と連絡を密にし、会員の皆様のバックアップを受けながら、クラブの発展に尽くして参りたいと思います。皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願いいたします。

4. 会員各位の期待に応えるための次期会長としての抱負

さて、ロータリー歴1年6か月で会長に選任して下さったからには、会員の皆様には、私に対する何らかのご期待があるものと感じております。そこで、ご期待通りに、皆さまが期待し、かつ、恐れられていることを実践したいと考えております。

第1に、次期の「会長の時間」には、時間厳守の上で、飛び切り難しいスピーチを行います。理解できなくても、週報で再現されますので、1週間かけてご理解ください。

第2に、ロータリーの目的に立ち返り、親睦を前提としつつも「奉仕活動」を重視します。理念だけでなく「滞納者ゼロの町」など、奉仕の実践と結果に拘りたいと思います。

第3に、日出町の児童を知的で花を愛する「世界レベルの紳士・淑女」に育てるために、学校や教育委員会と協力したいと思います。青少年奉仕委員会よろしく願います。

第4に、人口流出を防止するため、薬科大学を誘致し、日出町を「大学のある町」にすべきだと思います。奉仕プロジェクト委員会よろしく願います。

第5には、日出町の経済の発展のために、「暘谷駅に特急を停車させる」ための署名活動、それと連動して、「九州ロータリー新幹線」の誘致の署名活動を開始したいと思います。公共イメージ委員会よろしく願います。

5. 結語

いずれも、なるべくお金をかけない、アイデア勝負の奉仕活動です。お手数をおかけしますが、皆さまのご助言とご協力お願いして、就任受諾の挨拶とさせていただきます。



奉仕を鼓舞する人になろう